

〈早朝作業〉

早朝5時半、昨日の教訓を生かすべく畑に行く。すでに日は高く、今日も猛暑の予感。さすがにこの時間はまだ26度で暑くはない。生まれたての新鮮な空気を胸一杯に吸い込んで草取り作業開始。日中の作業だと休み休みだが、この時間帯は作業がはかどる。朝の2時間は日中の4時間に匹敵するので効率がいい。お隣の栗畑はいつもきれいに草取りをしているので、せめて境だけでも草取りをしておきたい。晴天が続くので、むしった草はすぐに枯れる。7月の梅雨時はむしった草がすぐに根を出してしまうのだが、この炎天下では1日で枯れるのでやりがいがある。



(お隣の栗畑はこんなにきれい)



(今朝むしった草)



(昨日むしった草)



(5日前にむしった草)



カボチャの中の草もとりたいのだが、下手に取ろうとすると葉や茎も傷めてしまうのでやめておく。カボチャは、草の上に葉を広げたたかに生活圏を広げているから草の中でも大丈夫だ。むしった草は草マルチとして根際に敷いておく。日よけにもなるし草が芽を出すのを防げる。枯れて分解すれば肥料にもなる。草の中にいるクモやバッタ、コオロギを見ると除草剤は使えない、イヤ使わない。